



野々市町文化協会

だより

第11号

野々市町文化協会
 会長 谷下 通夫
 事務所
 野々市町中央公民館内
 野々市町本町2丁目1-20
 TEL (076)248-0521



資源保護のため再生紙を使用しています



野々市町文化協会会長
谷下 通夫

いあいさつ

盛夏を迎え、皆様方にはいかががお過ごしでしょうか。さて、この三月に「華と響 虹かける 椿の里」をテーマに開催した、第九回花と緑ののいち「椿まつり'98」には、一万三〇〇〇人のご来場を賜りました。今回はテーマの「響」をイメージさせる特別企画の「虫送り太鼓」の展示と実演も行われ、誠に勇壮感あふれるものでありました。ここに改めて町民の皆様方に厚く御礼と感謝を申し上げます。

文化協会の活動は、全国的に知名度が広がった「椿まつり」の主催をはじめ、じょんからまつりやマナビイフェスティバル、文化会館・中央公民館事業などの協賛、そしてまた、加盟団体独自の様々な自主事業の展開など、多方面に亘っているところでございます。芸術・文化・生涯学習といった「ゆとり」の時代の中において、創造性豊かで個性あふれる社会の構築がこれからますます求められており、地域文化振興のため、時勢に応じた活動を展開していく所存であります。最後になりますが、今年度の「椿まつり」は記念すべき第十回目の節目を迎えます。当協会の英知を結集し、すばらしいものに致したいと思っております。そして文化の香り高いまちづくりを目指していきたいと思っております。

今後とも、町民の皆様方、町当局並びにご関係の



野々市町文化協会理事長
北 清志

いあいさつ

この度の平成十年度理事会において、宮岸洋二理事長が勇退されました。昭和六十一年の町文化協会創立に尽力されるとともに、平成三年より四期七周年にわたり理事長の重責を務められ、当協会の運営・発展に多大の貢献をされました。代わって役員改選にて、新理事長に前幹事の北清志氏が満場一致で選任されました。

過日の理事会にて、はからずも理事長にご推挙いただき、非力をも顧みずお引き受けすることとなりましたが、日に日に職責の重大さを痛感しているところでございます。

さて、文化協会も創立十二年目を迎え、ますます円熟味を醸し出すまでに成長しました。今後は、加盟団体間の連携を更に密にし、より質の高い活動を目指していきたいと考え、渾身の努力を傾注する所存でございます。

今後ともより温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



椿まつり'98

マナビイフェスティバル↑

視察研修会(井口村椿温室)↑

新年懇親パーティー↑

文化協会	加盟団体	団体名	代表者	設立年	会員数	団体名	代表者	設立年	会員数	
1	野々市	じょんから節保存会	村上 一夫	昭和35年	66名	9	将棋協会	鮎谷久太郎	昭和58年	100名
2	菊花	愛好会	高橋外茂男	36年	65名	10	読書会	北村 倫子	61年	53名
3	椿	愛好会	佐久間由孝	49年	80名	11	社交ダンス愛好会	絹川 善作	61年	40名
4	美術	協会	二又 米造	52年	88名	12	民謡協会	小林 孝次	平成元年	94名
5	音楽	文化協会	宮岸 洋二	52年	170名	13	俳句協会	奥村誠一路	3年	60名
6	華道	協会	中山 栄	53年	146名	14	茶道協会	安田 光男	5年	173名
7	盆栽	愛好会	向田初三郎	54年	36名	15	短歌協会	香城 清子	7年	30名
8	囲碁	協会	水淵 茂	57年	150名		計			1351名

団 盟 加 通 信

節 かんから じよん保

まつり盛り上げ、 町民の指導にも力

「じよんから」といえば野々市町がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能であり、毎年八月一、二日に繰り広げられるのが「野々市じよんからまつり」。

会場中央のやぐらの上で、最後まで演奏でおはやしを続け、踊りの輪を盛り上げていきます。まつりの前には各町内会や企業の講習会に出掛け、ボランティアで指導も並んでいます。

又保存会では会員を募集しています。いつでも入会できます。
小川(二五四一八〇八四)又は山田(二四八一〇五二)まで。



じよんからまつり

菊花協会

大輪菊ダルマ作り

ダルマ作りは、大輪三本立て60cm位の草丈で作ります。最初は六月下旬か七月初めに四号鉢に上げ一週間後摘芯します。25日〜30日後七号鉢に定植します。鉢の三ヶ所に支柱を立て、

とどいた時点で矮化剤(Bナイロン)をかけます。詳しい事は紙面の都合上書けませんが、協会役員に問合わせ下さい。

山田(二四八一〇五九) 高橋(二四八一〇三四)



大輪菊ダルマ

椿愛好会

思い出の椿を

今年の椿見学研修は京都の伏見、醍醐の三宝院、随心院、御香宮神社等の椿見学でしたが会員多数の参加を得て実のある見学研修会でした。そして京都の椿

は歴史を語る生証人だという説明を聞きながら、その椿に数百年前の先人達の思いを汲み取り、私達の周辺にも歴史を物語る椿をもっと残したいとの思いに気が付いた研修会でもありました。



京都：椿見学研修

美術協会

地域文化の振興のために

昭和五十二年に発足した美術協会は、昨年20周年を迎え、数々の記念事業を無事開催することができました。

また、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門の会員も年々増加し、現在八十八名の会員が所属会派を超えて、地域文化の振興のために活躍しています。今後とも、町民の皆様方のご理解とご支援をお願いいたします。



20周年記念美術協会展

音楽文化協会

結成20周年、 更なる飛躍を！

「音を楽しむ」の旗印のもと結成された私達音楽協会は、早くも20周年を迎えました。

結成当初は微力だった各傘下団体も今ではそれぞれジャンルの活躍、来る21世紀に向けて更なる歩みを続けて行きます。

「音楽したい人」ぜひご入会下さい。



ムーンライトJAZZオーケストラ

華道協会

文化協会行事に参加

今回は会の活動の紹介を致したいと思います。池坊、小原流、御室流、古流、嵯峨御流、MOA山月、松月堂古流、草月流の八流派、会員140余名。椿まつり、じよんからまつり、マナビイフェスティバル、全員花展と会員の方々の協力で行事に参加致し、又、旅行など多彩で年々盛会になっております。椿まつりでは会場に流派まわり持ちで大作を生けるなど、会員一同が活躍しています。

今年には嵯峨御流でした。益々の会の発展を祈りつ、……。



椿まつり大作

盆栽愛好会

設立20周年に向けて 更なる研鑽を

盆栽愛好会では、年間3回の盆栽展を開催しています。春は「椿まつり」。野々市が椿の盆栽の発祥地として知られるようになりました。初夏は、盆栽協会展。今年は6月に43席の盆栽にて盛会裏に行うことができました。秋は「マナビイフェスティバル」。紅葉や実のなった盆栽が展示されます。お褒めの言葉も多く頂けるようになり、これからも技術の研鑽に励みたいと願っています。心にゆとりと潤いを与えてくれる喜びもまたひとしおです。会員募集



マナビイフェスティバル盆栽展

囲碁協会

碁一緒に 楽しもうね

毎週の定例会は、中央公民館の和室で、土曜の晩と日曜の午後に年会費千円で、碁が好きだ、碁を覚えたい人が、碁一緒に楽しんでおります。

囲碁は、弱くても置石（力の差に）応じて一（九目）を置くことで、対等にゲームを戦えます。また、碁は考える力をつけるゲームであり、学童の学力と集中力をつけるのに、適したゲームです。

相手を変えて打つことで、棋力が向上しますから、定例会で新しい友達をふやし、碁と一緒に楽しみましょう。



椿まつり囲碁大会

将棋協会

棋友をつくってください

同じ棋力同士の対戦が最も熱が入り、楽しいですネ。楽しい棋友がたくさんいます。例会の順位戦では、上手や下手との対局もあり、盤上で火花を散らす様は壮観です。

毎週木・土、夜七時から中央公民館和室で、五級別リーグ戦を行ないます。新会員はいつでも歓迎しています。年会費四千円（大学・高校生二千円）新会員はD級に所属になります。



火花を散らすリーグ戦

会書協読

大江健三郎氏の文学について

昨年、十月二十八日の公開講演会で、一九八九年能登で講演された大江さんのテープを聞きました。難しいかと思っていたノーベル賞作家の事が「とつとつ」と流れ、御子息光さんの事や、大江文学の神髄に触れるお話でもっと多くの人に聞いていただきたい気持ちでした。

続く梶井先生の講演も如何に大江文学を理解するかのお話で、光さんの言葉テープも流れるたのしい講演会となりました。



松任へ文学散歩（中川一政記念館）

社交ダンス会

楽しく背筋を伸ばそう社交ダンス

平成十年四月から講師も変わります。会員もふえて、毎週火曜日の夜中央公民館にて、初級、中級と時間を決めて技術の向上を図り、人の輪を大切にしていきます。

年に一回合同チャリティダンスパーティー（収益金は町の福祉へ）と椿まつりには発表会と町の行事に参加しています。どうぞお気軽にご入会下さいませ。



チャリティーダンスパーティー

民謡協会

民謡は心のふるさと

民謡協会は公民館を中心とした野々市中央、富奥、郷、押野の各教室があり「椿まつり・民謡まつり・芸能祭」等会員一同一生懸命頑張っています。民謡は、ふるさとが育み、唄い継いだ大切な民族芸能であり、美しい自然への憧れとともに生活の中の素直なよろこびかなしみが織りこまれ私達の心の糧と申せます。

豊かな地域づくりをめざし活動を通し、人々のつながり、輪を広げていきたいと願っています。皆さま、いつでもお気軽にご入会下さい。心よりお待ちしております。



椿まつり（椿芸能祭）

俳句協会

俳句の上達と親睦と

平成十年年度の総会では、三十名の参加で白峰村の下山仏、民族資料館などを訪ね、行動寺で句会を開催しました。八月に「じよんからまつり俳句大会」、秋の文化祭（マナビイフェスティバル）、春の椿まつりの各俳句展示、扁額作り、新年句会など多彩な行事を計画しています。会派を超えた俳句愛好者の楽しい会です。初心者も問わず入会を歓迎しています。



句会風景

茶道協会

5周年記念式典を終えて

皆様のお蔭で先日無事5周年式典を終えられましたことを感謝申し上げます。すでに次の行事「じよんからまつり」にむけて、皆様にとのしんでいただきました茶道活動が開始されています。ご承知のようにお茶の効用は現代医学で立証されています。

一碗からピースフルネスの理念のもと茶道を修得していただきたく、お気軽にご入会なされますようお願い致します。



5周年記念講演会

短歌協会

短歌を通じて 新しい出合いを

新年年度の総会を気多大社の吟行中に行いました。大社の由来、創立について三井宮司の丁寧な説明を聞いての散策は実りの多いものでした。

昨年は椿まつり、マナビイフェスティバル、画廊喫茶での作品展と活動しました。短歌を通して皆様との新しい出合いを願っております。



気多大社にて

野々市町文化協会表彰

文化活動の功勞・功績をたたえる

平成九年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日(文化の日)文化会館にて挙行政され、次の六氏一団体に表彰状と記念品が贈られ、それぞれの功勞、功績が讃えられました。



尽力。多年にわたり会長として他社中との協調と運営に円滑なる手腕を発揮し、会の発展と後進の指導並びに本町の文化振興に多大の貢献。

【文化振興賞】

西永 正雄(粟田一丁目)

昭和五十七年町囲碁協会設立以来多年にわたり役員として会の運営発展と後進の指導並びに町民への普及に尽力。町の文化振興に多大の貢献。

島 秀治(稲荷一丁目)

昭和五十八年町将棋協会設立以来多年にわたり役員として会の運営発展と後進の指導並びに町民への普及に尽力。町の文化振興に多大の貢献。

野露読書会

昭和三十九年発足以来優良読書グループとして地道な活動を展開し全国表彰を受賞。町読書会連絡協議会の設立と文集「野露」の発行により会の発展と読書運動推進に尽力。町の文化振興に多大の貢献。

また、協会表彰に先立ち、町及び町教育委員会の表彰が行われ、次の二氏が受賞されました。(文化協会上申分)

町表彰

【芸術文化振興表彰】

荒木 幸子(三日市町)

第九回国際美術大賞展にて特別賞受賞。

町教育委員会表彰

【教育振興表彰】

押田 華奈(押野一丁目)

第二十一回全国高校囲碁選手権大会第三位。

平成五年町茶道協会設立に

三位。

わが協会にこの人あり

加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方をご紹介します。



顧問 小杉 久夫さん

昭和五十四年、当会の創立に尽力され発足と同時に副会長の要職を務める傍ら、事務局の裏方をも兼務され、今日の盆裁愛好会の基盤作りにも努力をされてこられました。

その下向きで温厚な人柄は県盆裁愛好会や日本盆裁協会石川支部とのパイプ役として大きく貢献され、当会の事業運営面にも大きなプラスとなっています。

今年でも年三回の展示会や毎月のように開かれる定例の研修会等行事の中心的役割を担って頂いております。

来年は、創立二十周年の節目、何時までもお元気で私共後進の指導にあたって頂ければと願っています。

(向田初三郎 記)



野々市町囲碁協会 (新)会長 水淵 茂さん

今年から、町囲碁協会長と町文化協会理事に就かれた、水淵茂さん(日本棋院)を紹介いたします。

協会発足時から長年理事として運営に手腕を発揮していただいております。囲碁の実力は町内一で、県下でもトップ級です。協会でも主催しています新春大会のA級戦では、優勝か上位入賞の常連です。また、名人位のタイトルも19回中7回も就かれました。

この成績や協会の振興に尽力された功績に対し、文化協会長より「文化振興賞」が贈られました。

また、この紙面をお借りし20年近くお世話になった魚住雅一前会長に感謝申し上げますとともに、新会長には健康で、協会の更なる発展と会員の棋力アップの指導を期待いたしております。

(源野辰一 記)

平成10年度野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	安田 彦三	美術協会 将棋協会	常任理事	山口 正昭	民謡協会
参与	内村 栄一		山口 誠一	山田 清正	俳句協会
	田村 昌俊		安田 光男	中島 康雄	茶道協会
	飯森 又郎		香城 清子	野々市 利男	短歌協会
	松本 佐二		粟 よし子	丸山 順孝	じょんから節保存会
	米林 勝二		山田 清正	若島 翠節	菊花協会
	館 惣吉		中島 康雄	横浜 和彦	椿愛好会
	宮岸 洋二		野々市 利男	水淵 茂	美術協会
	谷下 通夫		丸山 順孝	窪田 弘	音楽文化協会
	会長		無量井 三郎	若島 翠節	亀井 政子
		二又 米造	横浜 和彦	進村 五月	盆裁愛好会
副会長		鮎谷 久太郎	酒井 喜和江	囲碁協会	
理事長		北村 清志	窪田 弘	中西 名菜子	将棋協会
		村上 一夫	亀井 政子	久保スミ子	読書会連絡協議会
		高橋 外茂男	進村 五月	中村 三朗	俳句協会
		佐久間 由孝	酒井 喜和江	山口 良	茶道協会
		山本 晃彦	中西 名菜子	大久保 邦彦	短歌協会
		中山 栄	久保スミ子		社交ダンス愛好会
		向田 初三郎	中村 三朗		民謡協会
	源野 辰一	山口 良			
	北村 倫子	大久保 邦彦			
	副理事長	絹川 善作			

平成10年度主な事業計画

月日	事業名	場所
7月9日 ~19日	野々市町 美術展後援	フォルテ
7月15日	文化協会 だより発行	町内全戸配布
8月1・2日	野々市じょんから まつり協賛	フォルテ周辺
10月25日 ~11月3日	のいちマナビィ フェスティバル協賛	中央公民館 フォルテ 郷土資料館
11月3日	文化協会表彰式	フォルテ
11月9・10日	視察研修会	奈良方面
H11 1月上旬	新春書きぞめ 大会後援	中央公民館
1月中旬	新年懇親 パーティー	フォルテ
3月20・21日	花と緑ののいち 椿まつり'99	フォルテ ふれあい会館 郷土資料館